

## イベント情報

### 飛驒高山現代木彫根付展

精細な細工と洒落たデザイン  
感覚があふれでる「現代根付」を  
展示します。

**期間** 3月1日(日)～22日(日)  
**時間** 午前9時～午後7時

**場所** 飛驒高山まちの博物館

(上二之町)

**問合せ** 生涯学習課

☎35-3155



### 大衆演劇公演

南篠光貴劇団によるお芝居と  
舞踊ショーをお楽しみください。

**期日** 3月15日(日)

**時間** 午後1時～(開場午後0時  
30分)

**場所** 奥飛驒総合文化センター

定員 300人  
(奥飛驒温泉郷村上)

※参加無料、申込不要。

**問合せ** たからまちづくり協議会  
☎0578-84-0028

### 第14回すくなの里 ふるさと福祉村映画会

**作品** ワンダー 君は太陽

**期日** 2月23日(日)

**時間** 午前10時～、午後2時～

**場所** 丹生川文化ホール(丹生川  
町町方)

**チケット** 500円

(小学生以下無料)

**販売場所** 丹生川文化ホール、  
丹生川福祉センター

**問合せ** すくなの里ふるさと福祉  
村事務局(社会福祉協議会  
丹生川支部内)  
☎78-1294

## 募集

### 市民ふれあいファミリー農園 利用者募集

令和2年度の農園利用者を募集します。

**場所** 塩屋農園・・・11区画

下切農園・・・12区画

※1区画あたりの面積は33㎡(10坪)、  
使用料は年間6,400円です。

※貸出期間は1年間で最長5年継続で  
きます。

**対象** 農地を所有または耕作してい  
ない市民の方で、市税の滞納がな  
い方

**申込** HPまたは農務課にある申請書  
を3月2日(月)までに窓口・MAIL

**問合せ** 農務課 ☎35-3141

Mail: noumu@city.takayama.lg.jp

広報ID 1002638



### 木の駅プロジェクト 木質バイオマスのエネルギー 原料加工事業者の募集

木の駅プロジェクトとは、山から軽  
トラックで搬出した間伐材を木の駅で  
地域通貨と交換す

る取り組みです。木  
の駅に集まった間  
伐材を木質バイオ



マス燃料として市内で消費することで  
エネルギーの地産地消と里山整備の  
両立を目指します。

今年度は12月末現在で約420tの間  
伐材が木の駅に持ち込まれ、木質バイ  
オマス燃料に加工されています。

市では、木の駅に集まった間伐材を  
ペレットやチップ、薪に加工する事業  
者を募集しています。

詳しくはHPをご覧ください。

**問合せ** 環境政策推進課

☎35-3533

広報ID 1008318

### 飛驒山脈ジオパーク構想 ジオサイト(第25章)

#### 奥飛驒温泉郷(その1)

奥飛驒温泉郷が、「全国温泉地満足度ランキン  
グ(旅行サイトじゃらん2020年版)」で、満足  
度96%を獲得し2年連続1位に輝いた」と12月  
12日付の新聞にありました。飛驒山脈の雄大な  
自然と湯が評価されたのではという関係者の声  
も合わせて掲載してあります。

この奥飛驒温泉郷は、全国の温泉地と比べても  
泉温の高さ、湧出量はともに上位クラスです。  
さらにこの泉温の高さと湧出量の多さを活か  
し、これも全国トップクラスの露天風呂がある  
ことで知られています。

飛驒山脈の南部には、乗鞍岳・アカンタナ火  
山そして焼岳という三つの活火山が並んでいま  
す。奥飛驒温泉郷の温泉群は、これら活火山の  
地下で地下水が熱せられたり様々な成分が溶か  
し込まれ湧き出しているものと思われまます。ま  
さに飛驒山脈(大地)からの恵みなのです。

奥飛驒温泉郷には、古くから湯治場として知  
られた平湯温泉、蒲田温泉をはじめとして数多  
くの温泉地があり、人々に利用されてきました。

昭和55年以降、これら多くの温泉地を平湯温  
泉・新平湯温泉・福地温泉・新穂高温泉・栃尾  
温泉という五つの温泉群にグループ分けし、全  
体を奥飛驒温泉郷と総称しています。この名称  
は、高山市との合併後、旧上宝村の南東側町名  
にもなっています。

今から千三百年ほど昔、天平5年に書かれた  
出雲風土記の中に玉造温泉について、「一度浸か  
れば容姿端麗、二度浸かればたちまち万病を除  
く」と温泉の効能を絶賛  
しています。

このように、かつては  
温泉といえば、心身の疲  
れを癒し病を治すなくて  
はならない存在でした。  
その役割は、「癒し」の比  
重が大きくなってきては  
いますが、今も私達の暮  
らしになくてはならない  
存在です。

(飛驒地学研究会 下畑五夫)

**問合せ** 飛驒山脈ジオパーク推進協議会  
☎0578-84-0038

